

2023年度



大阪商業大学

Osaka University of Commerce

参加者
募集! 無料

先着順・事前申込制

定員: 200名

手塚治虫講座

開講日 2023年 2024年
9月～1月まで

5回の講座を実施

いずれも、16時20分～17時50分(90分)

会場

大阪商業大学・ユニバーシティホール蒼天

大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10(近鉄奈良線「河内小阪駅」徒歩5分)

講座スケジュール

① 2023年 9/29 金

「手塚治虫の
アンチ・ヒューマニズムと生命礼賛」

講師: 北波 英幸氏(アニメ史研究者 関西大学他非常勤講師)



② 2023年 10/20 金

「手塚治虫におけるアートと戦争」

講師: 油井 清光氏(大和大学社会学部教授)

講師: 立花 晃氏(大和大学社会学部准教授)



油井 清光氏



立花 晃氏

③ 2023年 12/1 金

「『どついたれ』に見る起業家精神」

講師: 島 修一氏(MBSラジオコンテンツデザイン局)



④ 2023年 12/22 金

「外科医、『ブラック・ジャック』に学ぶ」

講師: 高折 恭一氏(外科医、市立長浜病院 院長)



⑤ 2024年 1/19 金

「特別対談・手塚治虫が
描いた世界をどう生きるか」

講師: 春野 恵子氏(浪曲師)

講師: 久坂部 羊氏(小説家・医師)



春野 恵子氏



久坂部 羊氏

進行・コーディネーター

谷岡 一郎氏

(大阪商業大学理事長・学長)



ゲストコメンター

白井 一成氏(弁護士)

③12/1 金、④12/22 金
の2回に登壇



※講座内容は変更になる場合がございます。

「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」「火の鳥」「ブラック・ジャック」…。手塚治虫が創作した漫画とアニメーションが、戦後の日本の青少年の精神形成の過程で果たした役割は計り知れないものがあります。また、その多彩な作品から発せられるメッセージは現在も色褪せることなく輝き続けています。

大阪商業大学では、“漫画の神様”といわれた手塚の作品をひもとき、改めて現代社会を検証することで、現代人への共感を呼び覚ますとともに、現代社会が抱える問題や課題に対する理解を深め、未来への警鐘を鳴らす契機とすることを目的に5回の公開講座を開講します。ぜひ、ご参加ください。

応募要項

受講は、全5回講座一括のお申し込みとなります。

はがき、FAX、Eメールいずれかの方法で

①氏名②郵便番号・住所③年齢④電話番号⑤参加希望人数をそれぞれ明記し、右記までお申し込みください。先着順で受講証をお送りします。

■はがき 〒556-8666(住所不要)
産経新聞開発内「手塚治虫講座」係

■FAX 06-6633-2709 ※件名に「手塚治虫講座」と明記してください。

■Eメール event@esankei.com ※件名に「手塚治虫講座」と明記してください。

締め切り 9月25日(月) 必着 ※応募者の個人情報は受講証の発送と運営事務局からの連絡のみに使用します。

◆お問い合わせ 産経新聞開発内「手塚治虫講座」係
TEL 06-6633-6804 (平日、10時～17時)

出演者略歴

北波 英幸氏

アニメ史研究者 関西大学他非常勤講師



きたば・ひでゆき

1967年生まれ。関西大学他非常勤講師、博士(社会学)。メディア論・アニメ史研究者。論文『「テレビまんが」―「アニメ」前史のメディア論的考察』(2021)など。日本大学芸術学部卒業後、テレビドラマ

の助監督を経て情報番組・ワイドショー・広報番組などのディレクターやプロデューサーをつとめる。また、アニメやアニソン番組にて演出・構成などを多く担当する。マンガに関する記事・コラム執筆、トークライブなども行う。

島 修一氏

MBSラジオコンテンツデザイン局



しま・しゅういち

株式会社MBSラジオ・コンテンツデザイン局。1964年生まれ。宝塚市出身。大阪大学経済学部卒業後、毎日放送に入社。ラジオ局で生ワイド番組やドラマの制作を手がけ、2011年にラジオドラマ

「鉄になる日」で文化庁芸術祭大賞、ギャラクシー賞大賞受賞。17年にラジオドラマ「5拍子の福音」で文化庁芸術祭優秀賞受賞。15年には手塚治虫原作のラジオドラマ「どついたれ」を制作した。

久坂部 羊氏

小説家・医師



くさかべ・よう

1955年大阪府生まれ。小説家・医師。81年大阪大学医学部卒業。以後、外科医・麻酔科医として勤務。88年外務省入省、医務官として海外の日本大使館に勤務。2003年『廃用身』で作家デビュー。

14年『悪医』で第3回日本医療小説大賞を受賞。小説作品には、『MR』『善医の罪』『R.I.P.安らかに眠れ』『砂の宮殿』など。新書には『人はどう死ぬのか』『寿命が尽きる2年前』『人はどう老いるのか』などの著作がある。

油井 清光氏

和大学社会学部教授



ゆい・きよみつ

早稲田大学卒業後、神戸大学大学院で博士号。神戸大学学長補佐(国際担当)、ヘブライ大学(イスラエル)客員研究員、ハーヴァード大学客員研究員、フランス国立パリ政治学院客員教授、日本社会学理論学会会長、日本社会学会理事、国立新美術館評議員等を歴任。主な関連論文に、Japanese Animation and Glocalization of Sociology(ウプサラ大学出版、2010)、サブカルチャーは世界を旅する(共著、『昭和堂』2020)など。

高折 恭一氏

外科医、市立長浜病院 院長



たかおり・きょういち

1961年京都市生まれ。85年京都大学医学部卒業。以降、アーカンソー大学助教授、朝日大学教授などを経て、2021年から市立長浜病院 院長。最も予後の悪い膵臓がんの治療を専門とする。がんの根治を目指して拡大手術に取り組みと同時に、腹腔鏡やロボットを使った低侵襲手術の開発を行う。さらなる治療成績向上のため、膵臓がん早期診断を目的に全国多施設共同研究を実施している。21年にアメリカ膵臓クラブで生涯功労賞受賞。海外でも手術を行う現役の外科医。

谷岡 一郎氏

大阪商業大学理事長・学長



たにおか・いちろう

1956年大阪生まれ。80年慶応義塾大学法学部卒業、83年南カリフォルニア大学行政管理学修士課程修了、89年社会学部博士課程修了(Ph.D.)。97年から大阪商業大学学長。2005年には学校法人谷岡

学園理事長に就任する。専門は、犯罪学、ギャング社会学、社会調査論。著書に「こうすれば犯罪は防げる」(新潮社)、「ギャング社会学」(世界思想社)、『社会調査』のウソ・リサーチ・リテラシー(文藝春秋)、『悪魔の証明―なかつたことを「なかつた」と説明できるか』(筑摩書房)等。

立花 晃氏

和大学社会学部准教授



たちばな・あきら

和大学社会学部准教授として芸術社会学や創造都市論を研究する傍ら、大学院時代より継続してきた金属工芸(ジュエリー・铸造など)作家として創作活動を行う。現在は日本六古窯をはじめとする窯業地域の創造性について、指標を用いた特性分析やフィールドワークを通じて研究している。また、サブカルチャーやマンガへの造詣が深く、フィギュアやガレージキットの重度のコレクターであり、原型制作なども行う。

春野 恵子氏

浪曲師



はらの・けいこ

東京都文京区出身。東京大学教育学部体育学健康教育学科卒業後、「進ぬ!電波少年」「電波少年的東大一直線」家庭教師・ケイコ先生としてデビュー。2003年、上方の女流第一人者二代目春野百合子(大阪無形文化財)に国立文楽劇場の楽屋にて弟子入り。公益社団法人浪曲親友協会理事。

白井 一成氏

弁護士



しらい・かずなり

京都大学法学部、同法科大学院を経て2010年弁護士登録。渡辺橋法律事務所代表弁護士。中小企業を中心とした企業法務からエンターテインメントコンテンツに関する知的財産権まで、幅広い分野を取り扱う。幼少期に「三つ目がとおる」「ブラックジャック」「火の鳥」などに触れ、手塚治虫の世界を知る。数多くの作品はもちろんのこと、手塚治虫が残した数多くのエッセイを通じて感じ取ることができる、人間「手塚治虫」にも関心を寄せる。

「手塚治虫講座」参加申し込み用紙

FAX 送り先 **06-6633-2709**

申し込み締切 9月25日(月)必着

ふりがな				参加人数	
氏名			年齢	歳	人
住所	〒 -			電話番号	TEL